

授業概要

保育内容の研究Ⅰでの学習に続いて幅広く造形活動に取り組む。
 子供たちの表現活動に誠実に寄り添い、適切なかわり合いができるよう、様々な技法、材料体験を重ねて表現にかかわる展開と応用について学ぶ。
 表現活動の動機となる年間行事や季節感、伝承遊び、絵本の創作技法なども課題に取り入れ、柔軟な指導のあり方を考えていくように指導する。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	春の造形活動 ①壁面装飾 自己紹介の旗
第3回	②つながる迷路 色紙ランド
第4回	③こいのぼり
第5回	材料の比較研究 ①紙粘土、土粘土、樹脂粘土（どろ仮面、二つ折り動物）
第6回	②線材料、糸、ひも（くねくねモンスター）
第7回	③和紙と墨
第8回	④自然素材（木、土、石など）
第9回	遊びと工作 ①かざぐるま
第10回	②さいころパズル
第11回	夏の造形活動 花火大会（共同制作）①準備と構想
第12回	②作業の続き
第13回	絵本からの展開 ①はらぺこあおむしのオリジナル色紙作り
第14回	②コラージュで折りたたみ絵本
第15回	③作業の続き、完成まで
第16回	まとめレポート作成

到達目標

造形活動を行う上で必要な表現技術を学び、保育の現場での様々な場面での指導、援助に生かせる柔軟性と応用力を身につけることを目標とする。

履修上の注意

必要な画材、用具は用意するため、教材費1000円を集金する。
 水彩絵の具一式のみ、各自用意すること。

予習・復習

基本的に授業時間内での作業とする。事前にアイデアを考える、または遅れた作業を挽回するなどの指示をすることがある。

評価方法

制作に取り組む姿勢、作品の完成度と内容、準備、後片づけを含めた総合評価。
 課題作品60%、平常点20%、まとめレポート20%。

テキスト

特になし。適宜資料を配布する。